郵便局認可　　（日曜日休刊）　（定價金三錢）

時事新報

第千三百八十七號
明治十九年九月廿二日　水曜日
昭和三年　丙戌八月廿五日　（乙酉）
日出午前五時四十八分　日入午後五時五十七分
月出午前一時三十六分　月入午後
滿潮午前十一時零四分　午後十一時三十七分
（西暦一千八百八十六年）

社告

○時事新報豫約御購讀被成下候ニハ新報代價並ニ郵便稅共必ズ前金ヲ以テ御拂入被成下度候又前金相切レ候ヘハ其日限リ新報ノ送遞相見合セ候

○新報代價並ニ郵便稅トシテ御送附相成候金員當方ニテ正ニ落手仕候節其都度雖面ヲ以テ御通知ハ不申上其代リニ毎日御送遞申上候新報ノ帶封裏面御名前ノ脇ニ（何月何日）ト記入仕置候間御證可被成下候是ハ此日迄ノ新報代價並ニ郵便稅トモ御拂濟相成居ル ニ付此日マデハ新報送遞仕候ト申ス事ニ候

○郵便爲替又ハ銀行爲換等ヲ以テ時事新報代價御拂入レ被成下候節當方ノ名宛ハ（時事新報社）ト致レ郵便爲換ナレバ（東京郵便局）ニテ受取ルベキ樣御取組被成下度候

○御住所ノ御都合ニテ郵便爲換又ハ銀行爲換等御取組被成下候儀御不御ノ御方ニ限リ時事新報代價並ニ郵便稅共一錢又ハ二錢ノ郵便切手ニテ御拂入レ被成下候テ苦シカラズ候

○時事新報豫約購讀ノ諸君ニテ住所御移轉等ノタメ新報配達先ヲ御取替ヘ被成度節ハ新舊兩方ノ所番ヲ併テ御通知被成下度候

○時事新報の見本御入用の御方は其旨東京日本橋區通三丁目十一番地時事新報社又は大坂東區高麗橋通五丁目卅四番地時事新報社出張所の内へ御申越被成下度左候へば代價並郵送料と申受けず右見本御送り可申上候

時事新報

改良劇場の管理

西洋風の新劇場を建築し好俳優を出して好脚本を演ぜしめ其序ふ諸道具向充と改良し從來の演劇改良論の大体ふして我輩の蓋害物を一新す可しとは今の演劇改良論に寄生する總べての蓋害物を一新す可しとは今の演劇改良論の大体ふして我輩の夙ふ贊成せる所なり斯くて世論も漸く熟まて右の改良論に異議なき今日、我輩は其劇場管理の實地談ふ入て一言世人の注意を乞はんと欲せるみり西洋諸國劇場の管理法と固より種々樣々なれども通例の處にては俳優の首座即ち座頭なるものが自から一個の劇場を所有し金主と爲り勸進元と爲り下役の俳優と屋ひ作者と談判まて好脚本と見立て又之を買入るゝ等を始めとして會計上の利害損益い一切座頭の負擔ふ歸し俳優自身にて其劇場を管理するの法にして見物人の多寡は座頭に直接の關係と及ぼすが故に俳優が其藝道に熱心するれ頗る厚きのみり大劇場を管理するものは多人數を使役し多金頓を出入せると小政府一省の大臣よりも大なる程なれば俳優の首座は大資本の主人公ふして其社會に對するの位地も亦自ら貴重ならざるを得ず斯かる仕組ふて劇場の管理一主人に歸すれば演劇の妙を盡し觀客の便利を謀ると切に為て日本流れ茶屋小者抔云ふ蓋害物は迚も其間に寄生する能はず隨て會計散漫の患もなく萬事都合宜き由なれども今の日本の劇場に於ては其管理法宜を失ふもの甚だ少なからざるが如し第一勸進元なるものありて他の金主より金を借り出し其金と以て俳優囃方等と屋ひ諸裝飾道具を調達し興行中日々の収入を以て諸雜費を仕拂ふの法なれども從來の風と為て劇場と以て恰かも投機流不確實の業と爲し其會計出納に關するものも亦其流の人物にして有れば有るふ任せて費し大入なれば豪放費費と事として烟と爲し不入なれば金欠々として高利の金を借り入るゝ其際に糧々已むを得ざる事情を生じて次第ふ蓋害物の寄生を許し勸進元は常に借金の袖に座するの實あり即ち今日の實際に於て芝居ほど儲かるものなく又芝居ほど損をするものなき所以にして結局管理其法を得ざるの罪と云ふ可きのみ

劇場改良は今の興論と爲りて通般は演劇改良會なるも れも起り從來の卑陋演劇を一新して文明流の優美なる演劇と開かんとするの運に會したり然るに演劇は文敎の一端にして外國人抔に對する時は其美醜巧拙は恰も國の文化の度を表するの場合なきふも非ざきば我政府ふ於ても窃ふ其擧を贊成して幾分の保護と加ふるやの趣ふり又一個人の資格に於ては朝野歴々の貴顯紳士が發起贊成の列に加えりたれ心退て西洋風れ新劇場と建築せるの運びにも至る可きや疑を容れざる所なきと も斯くて劇場の落成したる處にて其管理法は如何す可きや從來れ劇場を投機者流の手ふ任ぜて管理せしめたるは間違ふりとて之を其手より引離すは可ならんと雖も第二の管理者に人物を得ざるときは仮令へ俳優作者の方は目的通りの好都合に運ぶも管理法に一落と誤り會計上漸く奇相を現はして彼の蓋害物の如きも人を取替へ裝を改めて其間ふ出沒し演劇改良の夢は忽ち醒光て一場の兒戯劇場に歸せるとふしと云ふ可らず此の事は演劇の開業と待たず建築工事の其の初より聊ふ心配を私にそれを不振締に流るゝの恐あり、結局獨立商人の事にして心術資産共に獨立の位に居る者が主として事業と企て政府ふ談判して官金をも其費用の中に加入すると申ち位の鈞合ふて始て穩なる可し今れ商人社會に其人ある可きや否や之を得ること易らざる可し演劇改良れ熱心家は既に第一着の理論を講ぜたきも我輩未だ其二着れ實際論を聞かず而まて改良實功の大成は特に其第二着の仕樣如何に存するものふれば今より一歩を進めて更に此邊の工風ふそ要用なる可し

官報

●流行地虎列刺

流行地	月日	新患	新舊死亡
大坂府	九月十九日	百十五人	七十五人
同四區西成郡	二新患三十四人新舊死亡三十三人		
神奈川縣	同	二十四人	十七人
同横濱區	二新患九人新舊死亡二人		
兵庫縣	同	三十六人	二十九人
同神戸區	二新患五人新舊死亡四人		
長崎縣	同	三十八人	十三人
同長崎區	二新患十四人新舊死亡七人		
新潟縣	同	六十二人	三十二人
同新潟區	二新患一人新舊死亡一人		
千葉縣	同	二十人	十四人
茨城縣	同	三人	一人
山梨縣	同	十七人	十四人
青森縣	同	四十二人	二十七人
秋田縣	同	二十八人	十二人
福井縣	同	十二人	六十七人
岡山縣	同	十二人	二人
山口縣	同	三十九人	一人
和歌山縣	同	二十一人	二十二人
愛媛縣	同	百六十八人	三十九人
佐賀縣	同	八人	六人
函館支廳	同	十八人	七人
合計		新患六百六十三人	新舊死亡三百九十八人

○流行地外虎列刺　北海道札幌去る一日より十八日迄新患三十五人新舊死亡三十六人」京都府去る十八日十九日新患四十一人新舊死亡六人」栃木縣去る十七日十八日新患十六人新舊死亡七人」愛知縣去る十五日十六日新患三人新舊死亡二人」岐阜縣去る十九日新患一人」福島縣去る十七日十八日新患一人舊患死亡四人」宮城縣去る七日九日舊患死亡二人」岩手縣去る十六日新患七人新舊死亡三人」徳島縣去る十七日十八日新患十三人死亡八人

○避病院入院患者數　東京府所管各避病院ふ於て去る八日より同十四日ふ至る一週間入院せし虎列刺患者の數は左の如し（但ふ送院の途中死亡せし者も入院中に算入す）

臨時病院	去七日日ヨリ持越患者	入院	治癒	死亡	治療中	患者百分死亡比例
本所避病院	一九三	六二	五八	一四一	一三五	一四・〇
臨時病院分院	六七	七八	七	一〇七	四二	三・二
駒込避病院	五〇	二七	三三	三三	一四七	三・三
大久保避病院	二二五	一四三	五七	二八	五七	二・一
合計	八七三	八〇	四三	二一九	二二三	三七・五〇
	九二	六〇	六〇	六三	六九	三・〇
	六六六	三四九	五六〇	三三〇	三六四	三九

○火葬數　警視廳に於て調査せし去る四月より七月迄東京管内火葬數左の如し

月次	千住村	代々木上落合村
四月	常傳染病	常傳染病
五月	一八八	一〇三
六月	四一六	二八
六月	一五一	一〇九
六九	六一六	三四
六五四	一五九	一二
三六四	一三四	二九
一九七	一二八	八五
	二二	二六
	一九四	七九
	二三	二四

（以上本年九月廿一日官報）

雜報

○葡萄牙皇帝の旅行　同皇帝は去八月二日英國プライマースに向つて國都リスボンを出發せられ同五日の夕刻同國船アルホンソ號にてプライマースに到着せられたるに付英國女皇陛下の名代としてコンノート公も六日朝同地に到着せられ直ふ皇帝の御船と訪はきるる後御會食れ爲めチスボーンの皇宮へ誘引せられたり其間英國の各將校に面謁仰付られ港内の軍艦い裝飾を爲し祝砲を發ぜるより女皇の御名代と乘せ來たるヴヰクトリヤ、アルバートの二艦は皇帝及び女皇の御名代を乘せてチスボーンふ向ひ出立したり同陛下は此處ふ翌朝まで滯在せられ夫よりバッキンハムの宮殿と見物せふるゝよし今度同皇帝の旅行は微行にして政治上の旅行にあらねば一人も宰相をも召連られずチスボーンにて英國女皇と對顔の後は倫敦ふ向ひ出立せられ又夫よりフラッシングを經てヘーグ、コッペンヘーゲン、ストックホルム等の各府を巡行ぜ來る九月廿七日には飯國さるゝ日取ある由と近着の英國新聞に見へたり

○露國は侵略　近來露國が國土と侵略するの政策を見るに先づ徐ろにボスポールス潭の方ふうの版圖を擴めつゝある間に同じくペルシヤの方向よりペルシヤ灣及び印度洋に進み又一方にては印度の境界を窺ひながら更にサイベリヤを横絶して支那帝國に侵入せんとせりもし前路に當るの障害なくして其志を遂ぐるあらば歴史上前古未曾有の大國となるや疑ふべからずとイグリー新聞に記せり

○煙草の效能　近頃有名なる學士ハックスレー氏が或學會の席上ふ於て吸烟の效害に付演說しさる趣意は左の如くなりと

諸君余の既往四十年間に烟草は予に取り恐るべき毒物なりし（非吸烟者喝采す）余は若年の頃醫術研究れ折に吸烟と試みたるが之と嗜むこと能はず何時も忽地死すべく思ひさり（喝采）其後程經て海軍醫官を奉職せ去時又た之を試みたるに前と異ふることなく只さ之が爲めに苦ませられざるのみ故ふ余は眞に烟草は有害れ者と信ぜ若し其時社會ふ向つて此使用を廢せしめんとせるの議を起すものあらば余は熱心に之と贊成したるならん（大喝采）其後數年を經て二三の友人と共ふ英國内を旅行せ去とき一日大雨に遇ひ止を得ず極めて陋矮ふる一旅亭に憩ふ然れども降雨益甚しく進退谷まり大に困却ぜたり此時同行の人々は皆吸烟せるもの〜ふれ也左のみ鬱屈の色もなく大に余と異れり余拔ふ於て再び之を試みんとせるの念を起し（聽衆少しく喧すし）巻煙草を得て之を嚥するに甚だ爽快を感ぜ（聽衆大に騷擾す）此日より始めて吸烟と嗜むふ至れりと之に依りて考ふれた適度ふ烟草を用ゆるは意ふ害なきものふらん如きも（非吸烟者の笑）より害ふ至るの茶より害ふ至るは過度ふ用ゆるに過ぎざるのみ其他ふ於ても肉類と雖ども過度ふ用ゆるに過ぎざるなり烟草も又此とも適宜に之を用ゆるに過ぎざるのみ年の經驗と以て

○米國太平洋海岸より社友の許に達せる報ふ於ける製絹業の專業ふ於て當地方の人民も近稍や高尚ふ於り隨て候は自然の勢ふ至るべきさへもおひ〜ふ今後五六年も立たば當太平洋海岸の製絹業は中々男子の如き存候されば當太平洋海岸の製絹業に望をある事なれば見を申述べ候御意見を申述べ候御意見は總べて東方即ち大西洋それ品位は極々の見るふとさへもあり度甚だ低きを以て昔し京都ふて織立京同第二と大坂同第三と四國九州向とふ家は太平洋海岸の出るものと被存候達するに隨ひ東方々は當地方ふても絹業の起るべき見は金利高く第二臨より雇ひ入れざる方ニューヨークふと此三點は大に起鐵道の運賃非常ふそるの見込之ふし方の職工を使役しくべらざることもあるべく又は社資本家あるべきな最も確實ふして且ち地所、葡萄園ふれば新事業の成敗る方なるべし依て萬國と有ぜ外ふ生の方法あるものにふて一箇月二十五ある眞拭と織り出工夫ともふすべしと製するの技術さし此の如して三年申べしと相考へ候なぞを輸入するが考にても無目的の當地に滞在する日れにて無論好け所職工を輸入ぜ當地